

# IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第6号

発行：学校法人国際医療福祉大学  
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7115



新学部増設へ。医療福祉学部開設に伴う校舎等増設工事の起工式でくわ入れする、(写真左より)高木邦裕理事長、大谷藤郎学長、宮地貴一副理事長、幸田正孝・国際医療福祉総合研究所所長予定者=平成7年12月20日(記事は2、4ページ)

## = 目次 =

	ページ		ページ
新年によせて	2	図書館スケジュール	4
理事長	2	委員会報告	4
学長	2	教務委員会	4
看護学科	2	学生委員会	4
理学療法学科	2	国際交流委員会	5
作業療法学科	2	紀要委員会	5
言語聴覚障害学科	3	情報化委員会	5
放射線・情報科学科	3	図書委員会	5
語学教育センター	3	図書館受入図書	5
出来事	3	報告	5
大学来訪者	3	らい予防法と大谷学長	5
講演会の開催	3	晩秋の出来事	5
動物慰霊祭	4	「Pleasure・冬」報告	6
お知らせ	4	リレーエッセイ	6
事務局より	4	編集後記	6
入試事務室から	4		



## 新年によせて

### 新年ご挨拶

理事長 高木邦格

新年おめでとうございます。

昨年4月の開学以来早くも9カ月がたちました。教職員の皆さんや学生諸君のおかげでここに無事新しい年を迎えることができ、大変感謝しております。

この大学は開学したばかりでまだ完成途上にあります。平成9年には医療福祉学科、医療経営管理学科の2学科をもつ医療福祉学部を増設し、さらに医療福祉の在り方や方法についての研究や政策提言等を行うための「国際医療福祉総合研究所」も同時期に発足させる予定で、昨年12月20日に新校舎の起工式を執行了しました。これからの医療福祉には技術面のみならず制度面での整備も重視されるようになってきます。新学部や研究所を設立することにより、本学としてもこうした側面に対応していきたいと考えています。

一方、学生の皆さんに直接関係する学内整備としては、サークル室の建設に着手し、バス停に風雨を防ぐ待合所を設置します。教育設備面では、600名余を収容し、AV設備を完備した大講義室を建設すること、基礎医学系科目の強化のために生理学実習室を増設すること、学内LAN等情報処理面での設備充実を図ることなどを予定しています。そのほかにも教職員や学生諸君から多数の希望が寄せられておりますが、予算を検討しながら優先順位を決定し、一步一步地道に整備を進めていきたいと考えています。皆さんのご協力をお願いします。

今年は、法人としても、学園祭、文化祭、国際交流などではできるだけ援助を行い、コミュニケーションの輪を広げていきたいと考えています。この大学を創りあげていくのは、学生諸君と教職員の力です。社会の期待を担っていることを自覚し、良き伝統を育んでいただきたいと思っております。

### 新年ご挨拶

学長 大谷藤郎

明けましておめでとうございます。

私たち国際医療福祉大学もいよいよ二年目に入ります。

第一期生の皆さんにも、教職員の皆さんにも創業の時代のこととて、なにかとご苦勞をおかけしていますが、一日一日が輝かしい歴史への歩みと考えます。「病んでいられる人も、障害者も健常者もお互いに尊敬しあって共に生きる社会」こそ21世紀理想の社会であり、「それを築く一員になろう」というのが、入学式のときに述べましたわが大学の建学の精神です。どうかこの精神を守り、育て、発展させてくださるようお願いいたします。

私個人にとりましては、昨年末に、永年運動を続けてきた「らい予防法廃止」を政府が受け入れ、今年国

会に提出されることになりました。19歳のときに国のハンセン病患者終生隔離の不当さを教えられて以来52年目、反対することを教えたわが師小笠原登はとっくの昔にあの世にいかれたが、今年遂に患者さんは解放されます。感慨無量の年であります。

### 地域との連携の広がり—今年もファイト!

看護学科 森田夏実

開学以来、地域活動に積極的に参加してきましたが、その成果が少しずつ現れてきています。12月9日(土)金田南地区公民館で開催された「一人暮らしのご老人への食事作り」では9人の学生が参加し、保健センターの保健婦さん、栄養士さん、母子保健推進委員の方々と共に昼食を作り、民生委員の方々と一緒に各々のお宅に届けました。お年寄りの方々は、7月8日第1回に続いて楽しみに待っていてくださいました。

この活動を通して2つの成果が上がりました。1つは、「大学周辺は夜になると街灯がなく学生が公民館の活動に参加したくても危ない」という話から、公民館長さんが大田原市にその旨を伝えてくださり、徐々に設置していくことになりました。2つめは、来年度の配食サービスは月1度のペースで実施できるように市が検討中とのことでした。地域活動には学生の参加が不可欠で、活かせる見通しができたということでしょう。

さらに、この活動の状況を雑誌「看護教育」が取材し、1996年2月号に掲載される予定です。

### 理学療法心の心

理学療法学科長 丸山仁司

あけましておめでとうございます。開学して、早くも1年が過ぎようとしています。歳とともに1年1年が短くなると言われ、実感しています。

理学療法学科は職業訓練型の教育ではなく、「プロフェッショナルとしての基本的能力」を目指したいと思います。教職員は学生の潜在能力を引き出し、開花することを助ける仕事であると思います。理学療法学科教員一同は103名の学生と共に学び、遊び、飲み、そして共に生き、「理学療法心の心」を探し求め続けていきたいと思っております。数は力なり。継続は力なり。

今後とも、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 「教育の筋道づくりを」

作業療法学科長 杉原素子

明けましておめでとうございます。

本学科は昨年、長男・長女ともいうべき1回生にずいぶん支えられました。どのような問題を感じ、どのようにそれらを解決していくのかなど教員たちに親しく語ってくれました。初年度の教員たちにとりまして、このようなことがことのほか助けになりました。

今年は、新入生を、この頼りになる長男・長女にま

かせて、教員は本学・本学科の教育課程について語り合い、それらをお互いに共有しながら独自の教育の筋道づくりに力を注ぎたいと考えています。

近い将来、社会で本学卒業生がじわりじわりと増えていくことがまことに楽しみです。そのためにも、「実のある専門職としての知識・技術を持つ」教育の筋道を大切に作る年にしたいと考えています。

#### 学生のみなさんへ：Time flies！

言語聴覚障害学科長 笹沼澄子

新年おめでとうございます。大学生になって初めてのお正月はいかがでしたか？ 期末試験も終わり4月には2期生を迎えることとなりますね！ それにしても“Time flies”を痛いほど実感した1年でした。学生諸君にとっても、高校生から大学生への節目に伴う大きな歓びとともに様々な“苦勞”を味わった年であったのではないかと思います。特に（1）新しい環境条件への適応、および（2）高校教育から大学教育への質的変換への対応、に苦勞した諸君が少なくなかったような印象を受けます。生まれて初めて親元を離れて独立した生活を営むことは容易ではありません。また、与えられた内容を忠実に学習する受け身の姿勢から、主体的に自ら学び考える態度への転換も一朝一夕にはいきません。しかも、専門職としての資質の育成を目指す本学のカリキュラムは他の一般大学のそれに比べてはるかに厳しいはず。これらの課題をうまく切り抜けるコツは、問題を一人で抱え込まないこと。早めに誰かに相談してみることにしましょう。

#### 新春の誓い

放射線・情報科学科長 野原功全

明けましてお日度うございます。佳き新年をお迎えることと思います。月日の経つのは早いもので、4月に開学して初めての学生諸君を迎えたのがつい先日のように思えてなりません。カレンダーはもう新しい春となりました。私自身はピカピカの教職一年生で、開学当初は自分の講義がどのようなものになるのか迷路の中におりました。しかし学生諸君の真剣な眼差しと明るい若さに乗せられて何とか授業を進めることができました。準備不足もあって自分では気付かぬ解り難い授業をやっているのかも知れません。来年度はもう少し良い授業になるよう頑張りたいと思います。迷路のような大田原の街にもようやく慣れました。国際医療福祉大学は21世紀に入ってから社会に大きく貢献するものと思います。今年はその重要な年に当たります。素晴らしい医療福祉社会を築くために、教職員および学生諸君と心を合わせてこの国際医療福祉大学を立派な大学に育てていきたいと思っております。

#### 1996年はつゆめ

語学教育センター長 宮尾洋子

雪をかぶった那須連山を背に校門に入ると管理棟の時計の右下に我が校のシンボルマークが見えます。地球をやさしく抱きかかえているような図柄を、目をこらして見ると、アレッ地球の周りに学生たちがいるのです。いつも真面目なA君、一所懸命のBさん、遅刻常習犯や居眠り軍団の面々もかわるがわる、この地球を持ち上げたり、かかえたりしています。そう言えば英語のテキストに、“この世界は太陽の周りを旅す宇宙船地球号”という文がありました。さしずめ、A君もBさんも皆この宇宙船の健康担当乗組員として訓練中なのだと思います。シンボルマークを見上げているうちに、ブルッと身震いして目が覚めました。この身震いは那須おろしの冷たい風のせいなのか、新しい大学の創造に関わるという感激からなのか、居眠り軍団が無事進級できるかもろもろの心配事のせいなのか、ともかく、こんな夢で明けた本年、学生、教職員、関係者の皆様、明るくすこやかに過されますよう祈ります。

#### 出来事

##### ◇大学来訪者

- \*平成7年12月7日（木）  
全国老人保健施設協会関東ブロック事務長会
- \*平成7年12月8日（金）  
厚生省大臣官房国際課 中澤課長補佐
- \*平成7年12月14日（木）  
手をつなぐ親の会
- \*平成7年12月15日（金）  
JUK I(株) 佐々木工場所、関岡総務部長
- \*平成7年12月21日（木）  
全家連 杉山常務
- \*平成7年12月22日（金）  
東北医療福祉専門学長 堀田理事長
- \*平成7年12月27日（水）  
県立衛生福祉大学校

##### ◇講演会の開催

酒井厚生省国際課長による講演開かる

去る12月8日、厚生省大臣官房国際課長酒井英幸氏による講演会が開催されました。酒井氏は「国際協力と医療」というテーマの下、自作の資料を使いながら、日本の医療援助の現状から国際的事情にいたるまでを分かり易く説明されました。初めて本学に来られた酒井氏は「皆さんはせっかく東京の大学とは違ってこのように勉強に専念できる環境にあるのだから、4年間思う存分勉強して下さい」と激励して下さいました。2時間という限られた時間の中、質疑応答を含め有意義な会を終えることができました。

## ◇動物慰霊祭

12月13日、11時から約1時間にわたり、大谷学長、教職員、理学・作業療法学科の学生が出席し、生理学実習に供した動物の慰霊祭を行いました。生理学と動物実験の観点から、動物慰霊祭の趣旨について説明があった後、学長、教員および事務局代表、生理学実習の各グループ代表が献花を行いました。その後、学長による特別講演がありました。学長は、“命”について、1. 輪廻転生をはじめとする仏教説話、2. 臓器移植にともなう脳死判定の問題や試験管ベビーの問題など、命とかわる先端技術のこと、3. 命と死を考える人間の哲学、と幅広い観点から講演して下さいました。

## お知らせ

## ◇事務局より

## サークル棟など、工事建設に着手

新学部増設等に伴う工事が12月20日より学内で始まりしました。

今回の工事では、「マロニエ広場」付近にF棟、J棟の校舎2棟が建設されるほか、サークル棟、バス待合所やテニスコートへのスロープ、グラウンド・テニスコートの水道栓などを新設。校舎裏の駐輪場も増設されるなど、約1年間にわたる大規模な工事となります。

工事中は、学習・研究環境や学内交通の悪化等、ご不便をおかけすることになりますが、完成後は学内施設がより充実することになりますので、どうぞご了承下さい。

## ◇入試事務室から

## 平成9年度入学者選抜における学力検査実施教科・科目等について

学部(学科、課程、専攻等)名	選抜方法の区分	学力検査等の教科・科目等	備考
保健学部 看護学科 理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚障害学科	一般入試	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理B) 公民(倫理・政経) 数(数Ⅰ・数A、数Ⅱ、数B) 理(物B、化B、生B) 外(英Ⅰ・英Ⅱ) 小論文	数Aは数と式、数列 数Bはベクトル、複素数と複素数平面
	放射線・情報科学科	国(国Ⅰ・国Ⅱ) 地歴(世B、日B、地理B) 公民(倫理・政経) 数(数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B) 理(物B、化B、生B) 外(英Ⅰ・英Ⅱ) 小論文	

## ◇図書館スケジュール(予定)

2～3月(春休み期間)中はスケジュールの変更はありません。通常どおり開館する予定です。

後期授業:10月1日(火)～1月21日(火)

体育祭:10月12日(土)

冬期休業:12月24日(火)～1月7日(火)

後期定期試験:1月22日(水)より2週間

補講及び実習期間:2月5日(水)より4週間

## 委員会報告

## ◇教務委員会

1) 後期試験は1月16日より26日までに実施される。再試は原則として行わない。試験結果(合否のみ)は2月中旬に掲示する予定。試験終了後4週間は補講、追試、不合格科目の調整期間。

## 2) 平成8年度の学年暦

入学式:4月8日(月)(予定)

オリエンテーション:4月9、10日(火、水)

前期授業:4月11日(水)～7月17日(水)

大学祭:4月28日、29日(日、月)

前期定期試験:7月18日(木)より2週間

夏期休業:8月1日(木)～9月30日(月)

実習および補講:9月2日(月)より4週間

## ◇学生委員会

学生委員会は、教育環境の充実を目指して行動してきましたが、今後とも更なる充実をはかりたいと思います。そこでお知らせですが、今後の建築予定として駐輪場の整備、屋根付バスターミナル、部室(31室)、コミュニティ広場があげられます。また、奨学金の規程の整備も更に進め、次年度には枠も広がる予定です。最後に、今年度分として学生団体に活動助成金の交付が決定したこともお知らせしておきます。1団体平均10万円弱ですが活用して下さい。

大学を創り育てるのは教職員、学生の一体により可能です。

## ◇国際交流委員会

定例の委員会を12月7日(木)開催

1) JICA公衆衛生教育セミナーの研修生一行(22名)が本学を1月16日(火)視察する件について、詳細な日程、視察順路などについて話し合いました。

2) 大学紹介の英文パンフレットについては、以前に作成したものがあつたので、英語のチェックを英語科のダブス先生に依頼しました。

次回は1月11日(木)4時15分から。

## ◇紀要委員会

7月に第1回の紀要委員会を開催してから毎月1回の割合で委員会を開催して参りまして、平成7年最後の第6回委員会を12月21日に開きました。投稿論文の査読に関する事務的な確認や今年度末の創刊号出版を目指しての印刷関連事項を前回に引き続き検討いたしました。印刷経費を見積もるために紀要創刊号の発行部数を概略確定する必要があり、各学科、各センターおよび事務局に対して希望発行部数の調査を行います。また、紀要の郵送先を自由形式でリストアップしていただき、平成8年1月末日までに5階事務室まで提出していただくことにいたしました。

## ◇情報化委員会

本学情報システムは、(1)研究・教育システム (2)事務システム (3)インターネット (4)図書システム の四つの機能を実現すべく検討をしていましたが、平成7年12月4日(月)に各コンピュータメーカより最終的な提案をもらいました。各社とも、本委員会が要望したシステムを満足するものであります。現在、その提案を費用的な面を中心として検討していますので、最終的なシステム及びメーカ決定はもう少し後となります。

## ◇図書委員会

12月14日13:30-14:30、下記の議題について検討および報告した。

## 記

1. 平成8年度新規購入雑誌について
2. 管理課扱いの図書について
3. 平成8年度購入図書について

以上

## ◇図書館受入図書

12月19日現在、寄贈図書についての受入は下記のとおりです。(順序は受入順)

荒井蝶子様：日本病院会雑誌42(1995)～継続、その他

丸山仁司様：PT・OT国家試験のための運動解剖生理学のすすめ

清水健司様：カフカとカバラ

富士メディカルシステム様：新しい放射線写真学

浅田くに様：こころの旅、その他

看護学科様：母性看護学、その他

栃木通信音響様：今市産蛾類図鑑

管利信様：看護と情報1(1994)～継続

篠塚淳一様：Cognition, information processing and psychophysics

## 報 告

## ◇らい予防法と大谷学長

大谷学長は永年にわたるハンセン病の社会運動家として知られ、1993年にはジュネーブで社会医学で最も権威ある賞といわれるレオン・ベルナル賞を受けています。

患者の人権を無視し、ハンセン病差別の原因といわれた「らい予防法」について、大谷学長が厚生省「らい予防法」見直し検討会座長として、去年12月8日に「法の廃止と隔離されてきた患者の終生保障」を提言し、政府はその実現を発表したことがテレビ、新聞で大々的に報じられました。

今年廃止になれば、法制定以来89年目、大谷学長が京大で法律が間違っていることを教えられた19歳のときから数えて53年目ということです。気が遠くなりそうですね。

大学図書館には、大谷学長の書かれたハンセン病の著書、「現代のスティグマ」「ハンセン病・資料館・小笠原登」などが置かれています。

(文責 宮尾)

## ◇一晩秋の出来事一

「師走も半ばを過ぎ今年も残すところあとわずかとなりました。皆様には如何お過ごしでいらっしゃいますか。

さて、私こと10月22日那須岳登山中に倒れたところを皆様から数時間に亘って人口呼吸の手厚い看護を受けながら、遂に帰らぬ人となりました田代誠の妻でございます。その節は大変お世話になりありがとうございました。又皆様の折角の山行を台無しにしてしまい申し訳ございません。前から今回の登山を楽しみにして出かけたものを、あのようなことになってしまって、私ども家族にとっては、ショック以外の何ものでもありません。今でも「タダイマー」と現れるような気がしてなりません。ただ、現実是非情なもので、月日は刻々と過ぎるばかりです。12月9日に七七日忌の供養を済ませ、長崎県佐世保の基へ納骨を済ませました。早くにお札に伺いたいと思いましたが、まだまだやら

ねばならぬことが山積しており、仲々思うにまかせません。本来ならばお目もじの上お礼を申し上げるべきですが、私共の感謝の気持をテレホンカードに替えさせていただきますまして、この手紙に同封いたします。皆様でご利用いただければ幸いです。皆様の益々のご活躍を心より期待しております。田代夫至子 1995、12月 国際医療福祉大学の皆様へ」以上原文のまま。  
(ご本人の了承をいただきました)

12月中旬も過ぎて、看護学科、桜沢正浩君の許へ届いた手紙の全文です。

実は紅葉を見るためクラスメート数名で那須岳へ登山途中の出来ごとでした。疲労のため隠居倉で休憩をしようとした時、目の前で横になって休んでいる人を見て、心拍・呼吸ともに異常、瞳孔が散大していることに気付いたそうです。唯ごとでは無いと早速蘇生を試みましたが、すでに手足が冷たくなり反応も無かった。しかし心の中では「もしかしたら…」と望みをかけて、自分達の知る限りの手段を使ってひたすら蘇生を続けたそうです。ようやく山岳救助隊が到着。隊員の1人が「いろいろ努力してくれたけど…」と一言残して、その人を運び去られたということです。学生達には目の前で始めて「死」という場面を体験し、大変怖かったからみんな言葉も出せなかったと云います。夏休みの直前に教習法の実習を行ったので、その体験が大いに役立って、義務感のような思いが勇気を湧かせ、看護学生としてやるべき手段を精一ぱいにやれた。という充実感も味わったと話してくれました。当日山登りグループの幹事でいらした、坂田淳様からもお礼の手紙が届きました。その一部を紹介します。

「一前文略一。皆様方の努力と、ベストを尽くして下さった呼吸・心臓マッサージに、私どもは頭が下がるばかりでした。儂なくも我が友、田代君は蘇生かなわず、同日夕刻黒磯警察署に移送、検死の結果急性心不全と診断が下されました。本人は学生の頃から山を愛し、高度な登山技術を磨きながら、方々の名山を訪ねてきました。この晩秋の日に雄姿を見ながら、皆さんに護られてあの世に旅立てたのは、本人にとって誠に幸せなことであった、と我々は思っております。皆様もこれから前途のある素晴らしい人生を、豊かに過ごされるよう、又多くの人に接し社会に奉仕されることを期待して、私共のお礼の言葉を表し、又このたび寄せていただいた暖かいご尽力を感謝いたします。」(ご了承をいただきました)

この美しい話をお聞きして、胸が熱くなる程感動を覚えました。合掌 (文責 寺沼)

◇12月16日(土)にレストラン棟で開催された

パーティ「Pleasure・冬」報告

軽音楽部部長の小西が中心となり、P.T.学科のおじさんサークルの人たちと実行委員本部をつくり、合

唱部、吹奏楽部、軽音楽部といった音楽系サークルのコンサートや空手同好会、留学Friends & 少林寺拳法同好会、写真部、Balloon Club、アルフ、Club Nicol、テ



ニスサークル、ラクロス部ら各サークル、有志団体の模擬店と英語科教員による「英語でピンゴ」などが行われた。当日は学生や地元のヒトを合わせ400人ぐらいが来場し大変な盛況ぶりだった、アンケートによると大学での大きなイベントを期待する声も多くあるので、みんなのパワーで文化祭も盛り上げましょう。

## リレーエッセイ

南国の正月

細井良三

寒風の窓から雪に輝く那須連山の稜線を眺めながら、南国の暖かい正月を思うのも一興かと筆を執ります。南国タイの正月は、1月1日、2月の中国正月そして4月のソンクランと呼ばれるタイ正月の三回です。

11月から乾期に入り、海はだんだんと透明度を増し、12月になると、30度を越す炎天のもとでのクリスマス、正月の飾りが街を覆い、その状態が4月まで続きます。

約1年間タイのバンコックに赴任していたため昨年バンコック南方海上のサムイ島で正月(1月1日)を迎えました。大晦日はホテルのプール・サイドの仮設ディスコで踊ったり、プールで泳いだり賑やかに過ごしながら新年を迎え、深夜二時頃まで海辺で打ち上げられる花火と南十字星に見とれ、元旦は朝から気温30度で、終日マリンスポーツに興じていました。

このような正月もまた楽しいものですが、長年、身も引き締まる寒さの中で、心新たに正月を迎えていた者にとっては、四季の移ろいのなかで、厳粛な気持ちで生活の節目を考える正月が向いているように思います。やはり自然風土が文化に密接に結びついているのを実感しました。

次回執筆：金井 Pak-雅子(看護学科)

## 編集後記

首都圏の生活から離れ何かと不便を感じていましたが、正月東京へ戻るとこれが意外と行動しにくいことに驚きました。新天地に赴けば、何かにつけ他と比較して物足りなさを感じてしまいますが、恵まれているところはあまり気が付かず、そんなところは当たり前だと思ってしまうことが多いようです。ところで雪は降っても年に1回位と聞いていましたが・・・

(窪川 徹)